



## いいじま文彦(自民党)

1. 小学校の体育館にエアコン設置を
2. 南野までモノレールの早期建設を

- 問** 小学校全校の体育館に、現在はスポットクーラーの配備のみだが、エアコンを設置すべきではないか。
- 答** 今後、各自治体の設置状況や設置費の減額方法を検証するなど、引き続き、調査研究する。
- 問** 調査研究と言っている場合ではないのではないか。
- 答** 気候の変化を考えると、従来と違った考え方で議論すべき時期に差し掛かっていると認識している。
- 問** 多摩都市モノレールの町田延伸ルート案が選定された。南野までの早期建設を推進すべきではないか。
- 答** 沿線における需要の創出に資するまちづくりの深度化等とともに、関係機関等に積極的に働き掛けを行う。
- 問** 尾根幹線沿いのモノレール構想はどうなったか。
- 答** 現在の尾根幹線の計画と整合を図ることが難しい。
- 問** それを期待して来た企業や住宅も少なくない。尾根幹線沿いの交通網構築を真剣に考えるべきではないか。
- 答** 他の交通モードの導入等について、公共交通事業者等と検討を進めていきたい。



## おにつかこずえ(あすたま・維新)

1. こどもまんなか多摩市について
2. こども食堂について

- 問** 多摩市が力を入れているこども施策について伺う。
- 答** 近年力を入れて来たのは保育園、学童クラブの待機児対策、困難を抱えるこどもたちへの支援がある。
- 問** 子ども食堂事業補助金の返金金額について伺う。
- 答** 令和4年度の子ども食堂事業補助金は12団体781万1千円を概算交付した。精算額は116万5千円。
- 問** 子ども食堂の開催の場所、日時を入れたこども居場所マップを作成し、こどもたちに配付は出来ないか伺う。
- 答** 現在一律での周知は選択していない。子ども食堂の開催日時の周知方法等については関係機関で協議していく。
- 問** 今年度の補助金申請の条件となる研修の日時と内容について伺う。
- 答** 11月に開催する連絡会にて実施し、「ひとり親家庭への支援」をテーマとした内容になる予定である。



## 遠藤ちひろ(あすたま・維新)

1. 旧統一教会の市内進出を食い止める
2. 自転車ヘルメットの購入補助金
3. アルコール依存症と多摩断酒会

- 問** 旧統一教会の解散命令請求が視野に入ってきた。この後の展開について考えを伺う。
- 答** 国が宗教法人法に基づく過料を科すといった動きが出てきた。しかし解散命令請求が出て、判決確定には3年かかった例もあり、相当の期間がかかると想定している。
- 問** 解散命令が出る前に教団が資産を海外に移し、被害者救済ができないようなことがあってはならないと考えるがいかがか。
- 答** 宗教法人法では礼拝に関する建物や敷地の差し押さへの禁止の規定もあるが、今、その部分については何とも言えない。
- 問** 尾根幹線道路の2車線化工事の状況と、自転車ヘルメット装着率について伺う。
- 答** 尾根幹線の全車線4車線化は2031年(令和12年)をめざしている。自転車ヘルメット装着率は1割程度と低いため、普及のため1人二千円の補助を考えている。



## あらたに隆見(公明党)

1. 総合オンブズマン年次報告書に対する市の対応について
2. 子ども・教育の支援や施設について

- 問** オンブズマン制度(市民が市政に対する苦情申立てができる制度)の年次報告書には、業務の質の向上につながる提案が随所にあるが市側の対応について伺う。
- 答** 昨年からは部長職がオンブズマンより市全体として注意する事柄等を聴き、全職員への研修も行っている。
- 問** 不登校特例校の設置状況と新たな居場所として仮想空間を利用した不登校生徒支援のメリットを伺う。
- 答** 特例校は市内の子が登校しやすく必要な設備や支援を考慮し設置場所を検討中。仮想空間を利用しての支援は10月開始予定で、人との関わりが苦手な子どもも心理的負担の軽減ができ相談・学習支援につなげていく。
- 問** 母子保健と福祉の一体的支援が望まれる中、乳幼児健診や相談支援を利便性の良いところで、との声が出ている。10年後のまちの姿を見据え駅前で行う公共サービスのあり方を見直すべきと思うが見解を伺う。
- 答** 今後の検討課題と受け止め、どうすれば市民サービスが行き届くのか将来目標を掲げ全庁で議論していく。

